

(平成 28 年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題：養豚場において豚回虫卵を殺滅する消毒法の開発

研 究

養豚場での豚回虫対策

豚回虫は、人にも感染する寄生虫で、豚への感染が確認されるとと畜場で内臓が廃棄され、公衆衛生上、農家経営上対策が必要となっています。

豚回虫対策として、虫体は駆虫薬で豚の体内から排除できますが、糞とともに排出される回虫卵には消毒液は効かず、豚が経口摂取し感染を繰り返すことが課題となっています。

当センターでは、回虫卵が 60℃1 分間で死滅することを明らかにしており、粒状生石灰を床に 1 cm 厚に敷きつめ、上から水を散布した際の反応熱で死滅条件を維持できることを確認しました。現在、府内養豚場で、この消毒法で消毒した豚舎に駆虫薬を投与した子豚を搬入し、実証試験を行っています。今後は、糞便検査を定期的に行い、消毒効果を確認します。



子豚舎のフロア消



消毒した豚舎へ収容された子豚